

メキシコ市における上下水道震災対策強化プロジェクト (2020年～2023年)



地震大国メキシコで上下水道の震災対策を強化！

■ 実施団体：

名古屋市、名古屋市上下水道局

■ 対象国・地域：

メキシコ合衆国メキシコ市

■ 現地カウンターパート

- ・メキシコ市上下水道局（SACMEX）
- ・メキシコ市リスク統合管理・市民保護局（SGIRPC）



■ 協力内容：

- ・上下水道施設における災害時の応急活動マニュアルの作成
- ・上下水道の地震に対する強じん性を効果的に高めるための知識・技術の向上
- ・メキシコ市民に対する、災害時の上下水道利用に関する情報と知識を提供するための啓発活動

■ 団体のこれまでの取り組み：※いずれも草の根技術協力事業として実施

2005-2007年度 メキシコ水道における水質管理プロジェクトⅠ

- ・メキシコ市への初協力事業。水質管理手法を理解してもらうための研修や技術指導を実施

2008-2010年度 メキシコ水道における水質管理プロジェクトⅡ

- ・メキシコ市の水質管理能力をさらに向上させるため、モデル配水ブロック内での適正な水質管理の支援を実施。

2011-2013年度 メキシコシティの下水道事業改善プロジェクト

- ・下水処理や汚泥処理、下水管路の管理方法などを改善するため、技術研修などの支援を実施。

2014-2016年度 メキシコ市における下水処理改善プロジェクト

- ・下水処理場の運転管理及び維持管理能力を向上するためのマニュアル作成や、水環境を改善するために必要な市民行動に関する啓発活動の支援を実施

■ 事業実施の背景：

メキシコ市では、2017年9月にメキシコ中部で発生した大規模地震により、多くの上下水道施設が被害を受けた。メキシコ市は今後も発生が危惧される地震に対し、上下水道分野における迅速かつ確実な対策を喫緊の課題と位置づけており、当局もこれまでに蓄積してきた震災対策にかかる知識・技術をSACMEX及びSGIRPCに伝える形で技術面での協力を行うこととなった。

メキシコ市の課題と成果

課題① 災害時の応急活動マニュアルが整備されていない。

成果① 応急活動マニュアルを整備し、継続的に更新する体制が構築された。

課題② メキシコ市における上下水道の耐震性強化に必要な知識や技術が不足している。

成果② 地震対策の講義や、耐震技術・製品を伝える企業セミナー、名古屋大学減災館の視察などを通じ、上下水道の耐震性に関する知識・技術が向上した。

課題③ メキシコ市民への災害時における水利用についての啓発活動が不足している。

成果③ SACMEXとSGIRPCが共同で、災害時の水利用ガイドおよび水利用の啓発教材を作成し、市内の小中学校などに配布した。また、メキシコ市で初となる市民参加型の応急給水訓練も実施し、市民の知識が向上した。

事業の波及効果

！ SACMEXでの定期的な防災訓練実施

マニュアルの作成・改善の過程で防災訓練を実施した。この訓練はマニュアルの修正箇所を把握するために実施したものであるが、活動を通じて防災訓練が有益なものであるとメキシコ市に認識され、プロジェクト完了後も3か月に1回定期的に実施する旨がSACMEX局長より報告された。

！ より趣向を凝らした啓発活動へ発展

本プロジェクトでは課題③に対し、教材を作成して約240万人の学生に周知することができた。それだけに留まらず、人形劇を用いた啓発活動を自ら企画し実施するなど、メキシコ市が市民に対してより分かりやすく伝えようとする熱意を感じることができた。

！ 「SACMEX × SGIRPC」の相乗効果

これまでカウンターパートをSACMEXのみとして実施してきたが、今回の事業からSGIRPCが加わった。本事業を通じて2局が持つ経験やノウハウを共有することで、より有意義に事業を進行させることができたほか、2局間の信頼関係も構築することができた。中でもリスクマップに上下水道の情報を取り入れたシステムを開発することになった点は相乗効果の最たる例として挙げられる。